

***京都府青少年育成協会会長奨励賞**

「試練から生まれた夢」

亀岡市立育親中学校 3年
今西梨緒

私には、1才頃からアレルギーがあります。卵やそば、スイカにメロン。みんなが普段普通に食べているものでも、私には食べられないものがたくさんあります。

みなさんはこんな経験や思いをしたことがありますか？

食品を買う時は、いちいち成分表をみて卵が入っていないか確認します。入っていたらまた違うものを捜さなければいけません。みんなが普通に食べてる物が食べられないし、みんなと違うものでないと食べられないのです。私アレルギーだと知らない人は「何であの子だけ？」という目で見えてきます。私はこういうことがとても嫌で仕方ありませんでした。

小学校に入ってから、調理実習の時など、私がいなければすぐに決まった事でも、私がいるから考えなければいけなかつたりしました。でも、私はいつでもクラスの人達からの「しょうがない。」「アレルギーなんやから気にしないでいい。」という言葉に助けられてきました。クラスの人達は、私のアレルギーのことをよく分かってくれていたのです。

中学生になり、また私アレルギーだと知らない人ばかりになりました。私は、「また調理実習とか校外学習で迷惑をかける。」そう思っていました。でも小学校が違った人達も、「梨緒の弁当いいなー。」と言ってくれるようになって本当に嬉しかったです。

そんな時、あるテレビ番組を見ていて、「こういう仕事いいな。」「やりたい!」と思う仕事、夢を見つけました。それは『パティシエ』です。

初めのうちは、「パティシエになりたい。」としか思っていませんでした。でも、私は卵入りのものは食べられません。自分が食べられるものを作るため、本にあったレシピを参考にしつつも、卵を抜き、他の材料にしたり、分量を変えたりという工夫をしたのです。そんな風に、ケーキやクッキーを作っていくうち、家族や友達に、「美味しい。」と言ってもらえるようになりました。そして、自分が作った、ケーキやクッキーを家族や友達と食べられる事がとても嬉しくなったのです。

そうしているうちに私は、「自分のように、アレルギーがあって、他の人達と同じものを食べることができなくて、嫌な思い、苦しい思いをしている人達でも、友達や家族と笑い合っ一緒に食べることができるものを作りたい。」と思うようになりました。そのことを深く心に決め、その夢に向かって今も、一生懸命がんばっています。

私は今、卵が食べられるようになる試験をしています。もし、完全に大丈夫になって卵が食べられるようになったとしても、この夢を大事に守っていきたいと思います。

私はとても感謝していることがあります。それは、先生や友達、一番は家族に対してです。

先生は、修学旅行や、校外学習の食事について対応をすごく考えて下さいました。友達も、励ましの言葉をくれたり、遊ぶ時のお菓子の事をちゃんと考えてくれたりしました。私はすごく嬉しかったです。家族は、卵料理を入れた方が楽にご飯や弁当ができたと思うのに、工夫して卵抜き料理を作ってくれました。みんな、卵を食べたいと思う日もあったと思うけれど、卵完全除去にしてくれました。妹もがまんしてくれて本当に感謝しています。

私は、ずっと今まで「卵食べたい。」「アレルギーなんて嫌や。」「神様のイジワル。」とばかり思っていました。でも、今となっては、私は神様にも感謝しています。アレルギーがなかったら、自分の夢を見つけることは、絶対なかったと思うから。アレルギーは、私や家族にとって大きな試練だったと思うけれど、その試練があったからこそ、私は自分の夢が見つかったのです。家族には迷惑をかけたけれど、本当の夢が見つかって良かったと思っています。これからも自分の夢に向かってがんばっていきたいです。本当にありがとう。